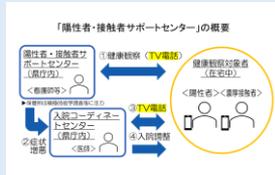


取組みの主な進捗状況

生活のDX

テレビ電話による健康観察の体制を整備します



新型コロナウイルスの流行に備え、来年1月、県庁内に「陽性者・接触者サポートセンター」を設置し、テレビ電話を活用して陽性者や濃厚接触者の方の健康観察を行う体制を整備していきます。

産業のDX

県産業情報センターに5G実証環境を整備しました！



11月に県産業情報センター内に県内で初の5G実証環境「5G Base FUKUI」を整備しました。この拠点を活用する企業もすでに現れており、県内企業が大学と連携して医療教材アプリを開発したり、県外企業が同センターに入居し開発アプリの動作検証等を実施しております。

行政のDX

県ホームページをユーザー目線で作り直します！



県民や本県に興味を抱いている方々に、よりわかりやすく適切に県の情報や政策をお届けするため、改善案（実証ページ）を作成しました。現行ページとの反応の比較解析等を行い、より利用者のニーズに沿った情報発信を目指します。

災害時にSNSを活用した避難所運営を行います

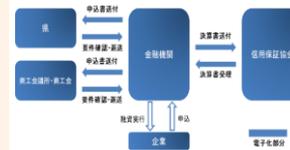
避難所の受付にSNS等を活用することで、名簿管理のデジタル化や登録者への情報発信等を通じた、正確・迅速な状況把握、避難者向けの情報発信の充実に繋がります。

今年10月の原子力総合防災訓練、11月の総合防災訓練において実証を行い、その有用性を確認しました。



全国初！県制度融資の全手続きを電子化します

県内8金融機関、県信用保証協会等と連携して、県制度融資の全ての手続きを電子化するプラットフォームを全国で初めて構築し、今年13日から運用を開始しました。申請から融資実行まで、事業者の資金需要に迅速に応えます。



「DXを知ろう！」出前講座を行っています！

今年度より、県職員による出前講座（現場でトーク）にDXのメニューを追加し、県民へ「DXを知ろう！」講座を実施しています。第1回目として、今年10月、越前市のNPO法人主催のセミナーの中で講演いたしました。



最近の県の動き

第2回DX推進本部会議を開催しました！

11月1日、第2回DX推進本部会議を開催しました。

これまでの取組みの棚卸と今後の取組み方針を設定した上で、全部局から今後の具体的な取組みについて発表しました。



本部会議で、県のDXシンボルマークを発表しました。「変える」をカエルで、オタマジャクシからカエルへと「変態」し、未来へ大きく「蛙飛び」することを表現しています。



地域課題解決プロジェクトを続々実施！

今年10月、国内外企業と県内の地域課題（農林水産・観光・介護・防災等）の解決を目指す「未来技術活用プロジェクト」に6件を採択しました。年度末に向け実証を順次実施します。



地域住民と県内外のITエンジニアや学生が協働して課題解決を目指す「シビックテック」を実施しています。今年11月には、福井市の課題解決（地域活性化・観光周遊性向上）を目指すハッカソンを開催しました。

RPA導入等による行政効率化を進めています！



RPAに集中的に取り組む「RPAキャンプ」の実施や「DX1所属1取組み」により、新たに年間約4千時間、これまでと合わせて約1万時間の業務時間の削減効果が見込めるようになりました。

今年11月、テレワークを活用して、職員20人がオンラインDX研修に取り組みました。WEB会議による感想共有会も実施し、現場実践の輪を広げています。

